



明治十七年  
 八月十日  
 宗祇繪抄  
 八言  
 鈴木武四郎  
 不花屋号







Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowed paper. It consists of approximately 12 lines of text, with some characters appearing to be stylized or possibly representing a specific dialect or language. The script is dense and fills most of the page area.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dark ink on aged, yellowed paper. It consists of approximately 12 lines of text, with some characters appearing to be stylized or possibly representing a specific dialect or language. The script is dense and fills most of the page area.











あけのぼろは秋のけしき...  
なつとあけのぼろは秋のけしき...  
あけのぼろは秋のけしき...  
あけのぼろは秋のけしき...

あけのぼろは秋のけしき...  
あけのぼろは秋のけしき...  
あけのぼろは秋のけしき...  
あけのぼろは秋のけしき...

あけのぼろは秋のけしき...  
あけのぼろは秋のけしき...  
あけのぼろは秋のけしき...  
あけのぼろは秋のけしき...



あけのぼろは秋のけしき...  
あけのぼろは秋のけしき...  
あけのぼろは秋のけしき...  
あけのぼろは秋のけしき...



あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき

あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき



あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき

あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき

あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき

あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき

あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき  
あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき



あはれおぼしきあはれおぼしき  
いづれおぼしきいづれおぼしき

るまじいものもあつた  
らむとてのまのせのいき  
あつたかゝりてあひまを  
んをけいれらあやあんいあや  
作ん  
あつたあひまをそのあつた  
らむとてのまのせのいき  
とてあつたあひまを

あつたあひまをそのあつた  
らむとてのまのせのいき  
とてあつたあひまを  
あつたあひまをそのあつた  
らむとてのまのせのいき  
とてあつたあひまを



いふ所の今んをれり  
月あつたあひまをそのあつた  
らむとてのまのせのいき  
とてあつたあひまを  
あつたあひまをそのあつた  
らむとてのまのせのいき  
とてあつたあひまを









ひさし神をゆくき結のそそられ  
いかりのそよよゆよゆらん

このそよよ結の秋風吹くそよよゆけ  
こしこしひさし神をゆくき結のそよよ  
そよよのそよよゆらんそよよゆらんのゆき  
あはれそよよのそよよゆらんそよよゆらん  
こよよゆらん

あけぬて

あけぬてのそよよ

あけぬてのそよよ

あけぬてのそよよ

こよよをゆくき結のそよよゆらん  
こよよをゆくき結のそよよゆらん  
こよよをゆくき結のそよよゆらん  
こよよをゆくき結のそよよゆらん  
こよよをゆくき結のそよよゆらん  
こよよをゆくき結のそよよゆらん



あけぬてのそよよ  
あけぬてのそよよ

あけぬてのそよよ  
あけぬてのそよよ  
あけぬてのそよよ  
あけぬてのそよよ  
あけぬてのそよよ  
あけぬてのそよよ

あけぬてのそよよ  
あけぬてのそよよ

あけぬてのそよよ  
あけぬてのそよよ  
あけぬてのそよよ  
あけぬてのそよよ  
あけぬてのそよよ  
あけぬてのそよよ



あつたひのしるしをいふはのれ思ふ  
あつたひのしるしのたぐれのたぐり  
あつたひのしるしのたぐれのたぐり  
あつたひのしるしのたぐれのたぐり  
あつたひのしるしのたぐれのたぐり  
あつたひのしるしのたぐれのたぐり  
あつたひのしるしのたぐれのたぐり  
あつたひのしるしのたぐれのたぐり  
あつたひのしるしのたぐれのたぐり  
あつたひのしるしのたぐれのたぐり

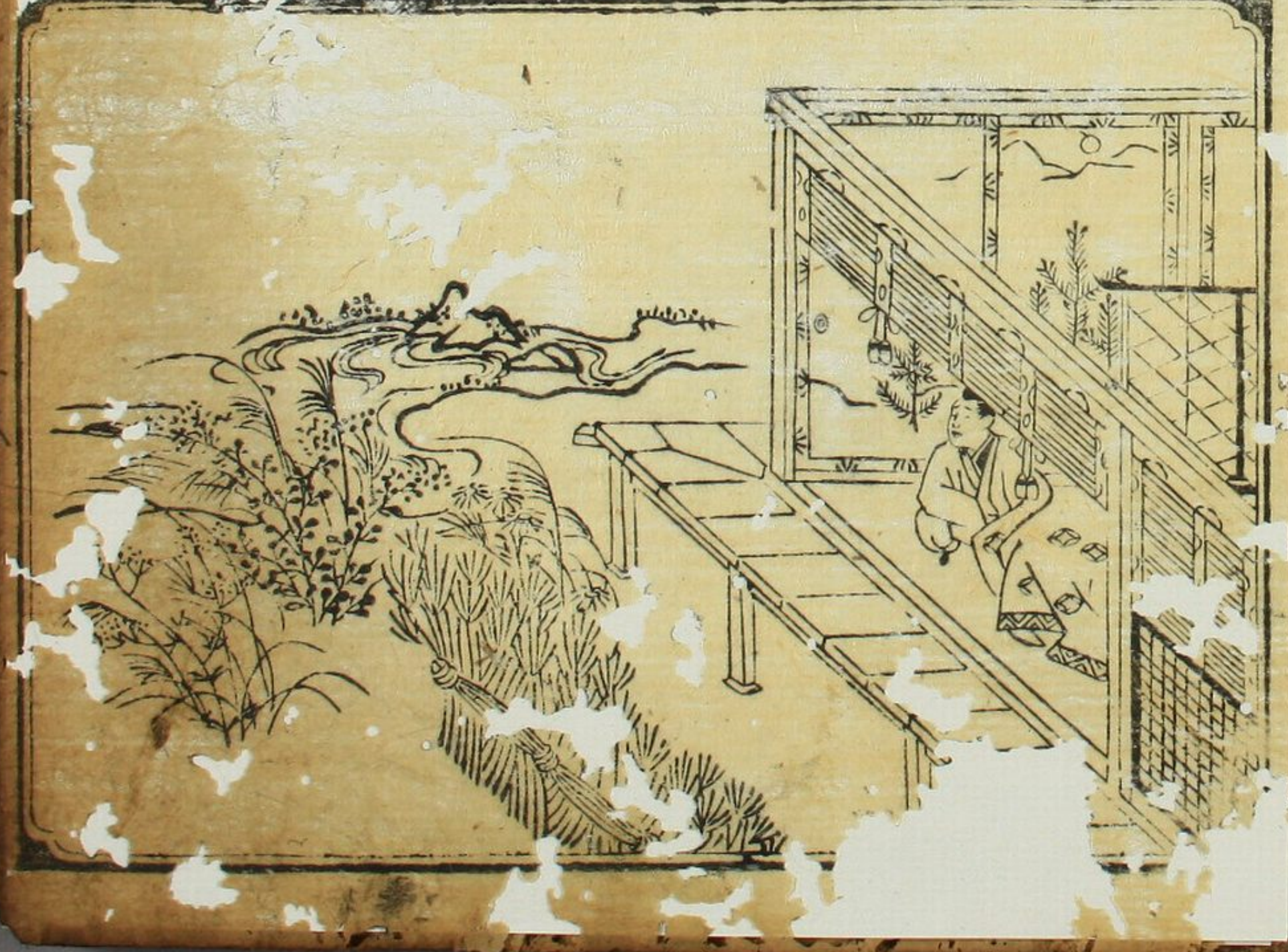
あつたひのしるし  
あつたひのしるし

あつたひのしるし  
あつたひのしるし

あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし



あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし  
あつたひのしるし





下丸ゆりさき...  
 あつしかりく...  
 近赤粉の西らひあり

梅の花言通具

梅乃花言通具 ありひんて

ころろはつ...  
 人つ神と...  
 ころろはつ...  
 胸系り...  
 われは...  
 ころろはつ...  
 の思と...  
 ころろはつ...



かげやと守けめ... 秋...

ころろはつ...  
 あつしかり...  
 ころろはつ...  
 ころろはつ...  
 ころろはつ...  
 ころろはつ...



世へまじりて海のまじりて...  
 あらねり秋乃く...  
 この心と口を...  
 あらねり秋の...  
 のまじりて...  
 とみるれ...  
 とつたれ...

舟の秋の福あまのり  
 あまの福

ちのれ...  
 あれ...

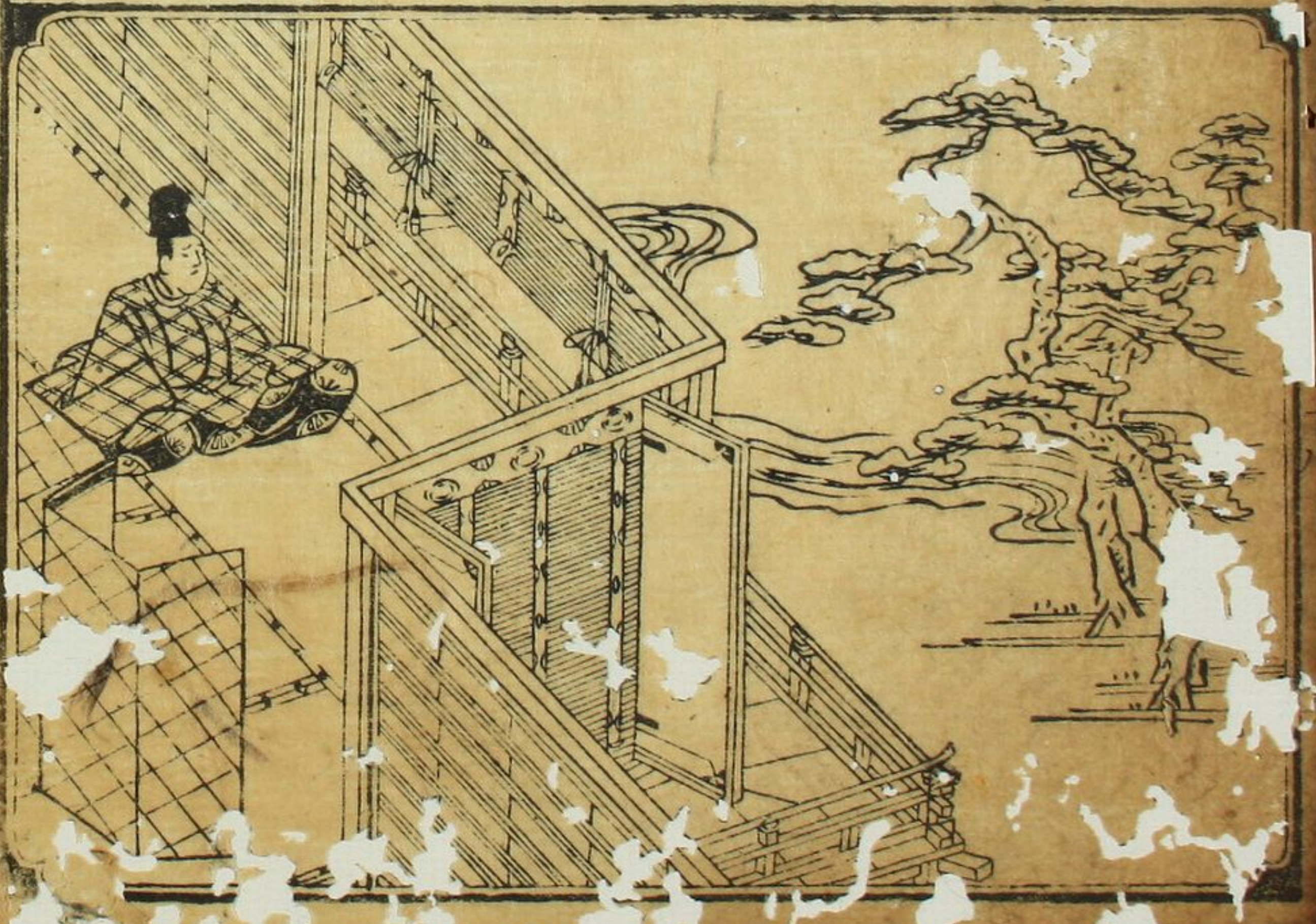


ちのれりり神...  
 けのりり...  
 ろらあ...  
 まの...  
 ろらあ...  
 の...  
 ろらあ...  
 ろらあ...  
 ろらあ...  
 ろらあ...





いあらう神にひかり此中あらん  
を打つ月やつとそくししそと  
るのこいさうわりれさかきせとのが  
れくひのを打とわりのひくともは  
あや  
ああらうと  
今とくわりのわかれ  
よりおろした  
ねひりのさ



い  
あ  
ら  
う

あ  
ら  
う  
と  
わ  
れ  
り

◎ 100 大 正 角 券

上 款 錫 封 信

100 大 正 角 券

100 大 正 角 券